

国語科「仕事のくふう、見つけたよ」単元指導計画(全12時)

時	活動内容	ねらい(付けたい力)	手立て	評価規準
1	<ul style="list-style-type: none"> 1年担任からの依頼を受け、委員会とは何か考え、温知小学校にある委員会を挙げてみる。 単元の学習課題を設定する。 調べたい理由を明確にして、自分が調べる委員会を決める。 	<p>相手や目的を意識して、調べたい委員会を選ぶことができる。</p> <p>課題を設定し、学習の見通しをもつことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ1年担任より委員会について教えてほしいことを依頼してもらう。依頼を受けて自分たちが低学年のリーダーとして1年生に向けて「委員会の仕事のくふう」を報告する文章を書くということを確認する。 最後には全員が書いた報告文を冊子にして1年生に報告することを伝え、意欲付けにつなげる。 どんな委員会があり、何をしているのかある程度の情報を伝え、選択できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手や目的を意識して、調べて書くことを選んでいく。 【思考・判断・表現 B】 学習課題を理解して、学習の見通しをもっている。 【主体的に取り組む態度】
	<p>単元を貫く課題</p> <p>1年生の子に委員会の内ようやくふうが伝わるようなほうこく文を書こう。</p>			
2	<ul style="list-style-type: none"> 今知っていることで一度報告する文章を書く。 	<p>知っていることから自分で考えて報告することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 名前や委員会名など最低限書くことは共通理解できるように出し合う場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で組み立てを考えながら知っていることから報告文を書くこととしている。 【主体的に取り組む態度】
3	<ul style="list-style-type: none"> 前時の活動の振り返りをする。 各委員会への取材計画を立てる。 	<p>取材計画を立て、学習の見通しをもつことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時の活動の振り返りからつまづきを拾い、それをもとに取材計画を立てるワークシートを準備する。 インタビューで聞いてくるとよいことをいくつか提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 詳しく調べるための方法を理解し、取材の見通しをもっている。 【思考・判断・表現 B】
4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> インタビューや常時活動の取材の内容を整理して、分かったことや考えたことをメモに書く。 	<p>情報を集め、相手や目的を意識して集めた情報を比較し、伝えたいことを選ぶことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毎時の終末に、調べた内容を整理、共有したり計画を見直したりする時間を設ける。 調べて分かったことと、考えたことを分けてメモに残せるように、それぞれのメモ用紙を用意する。またそのメモは文章の組み立てがしやすいようにロイノート上にも残すようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 集めた情報を比較し、伝えたいことを選んでメモに書くことができる。 【思考・判断・表現 B】
7	<ul style="list-style-type: none"> 報告する文章の組み立てを知り、調べた内容を組み立てに沿ってメモに整理する。 	<p>報告する文章の組み立てを理解し、書く内容の中心を明確にすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章の組み立て方のポイントを示したプリントを用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告する文章の組み立てを理解している。 【知識・技能】

8	<ul style="list-style-type: none"> 報告する文章の組み立てに沿って、調べた理由と調べ方を書く。 	段落相互の関係に注意して、報告文の下書きを書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 書くことに困難さを感じる児童には例文を示したものや穴埋めになっているヒントカードを提示し、どの子も取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 段落相互の関係に注意して、下書きを書いている。 【思考・判断・表現 B】
9	<p>本時 ※展開案参照</p>			
10	<ul style="list-style-type: none"> 報告する文章の組み立てに沿って、まとめの文章を書く。 	段落相互の関係に注意して、報告文の下書きを書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 書くことに困難さを感じる児童には例文を示したものや穴埋めになっているヒントカードを提示し、どの子も取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 段落相互の関係に注意して、下書きを書いている。 【思考・判断・表現 B】
11	<ul style="list-style-type: none"> 下書きを読み返して確かめ、絵や写真を入れて、清書する。 	間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして文章を整えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 読み手を意識し、丁寧な字で書いたりふりがなをふったりして清書をするように声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文章を整えている。 【思考・判断・表現 B】
終末	<ul style="list-style-type: none"> 書き上げた文章を仲間と読み合い、互いの文章のよいところを見つける。 自分の文章のよさを振り返る。 単元の学習を振り返る。 	報告する文章を読み合って感想を伝え合い、自分や仲間の文章のよいところを見つけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 仲間の文章に対するよさや感想をロイロノートで送り、自分の文章のよさを自覚できるようにする。 全員分の報告書を冊子にまとめることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読み合って、報告文の書き方や内容について感想を伝え合い、自分の文章の良さを見つけている。 【思考・判断・表現 B】 単元の学習を振り返り、報告する文章を書くときに気を付けることを自分の言葉でまとめている。 【主体的に取り組む態度】

第3学年 国語科学習指導案 単元名 仕事のくふう、見つけたよ

1 本時のねらいと付けたい力

報告する文章の書き方を理解し、「調べて分かったこと」を、文章を書くポイントを押さえて書くことができる。(思考・判断・表現B-(1)イ)

付けたい力： 資料作成・活用

2 本時の展開 (9/12時間)

過程	活動内容	指導の留意点 「付けたい力」に直接つながる指導 資料
導入	1. 報告文を書く目的を、1年生担任からのビデオを見て確認する。 2. 前時までに確認した、報告文の書き方のポイントを再度確認する。 ①委員会のことをよく知らない1年生にも分かるように、例をあげてくわしく書く。 ②見たり聞いたりして分かったこと(事実)と考えたこと(感想や意見)との違いが区別できるように段落を分ける。 ③インタビューの内容を正しく引用する。 3. 課題を確かめる。 ①ポイントをおさえて、最初のほうこく文よりもよりよいものを書こう。	☆最初の依頼を受けて報告文を書くということを再確認できるように1年担任からのメッセージビデオを見る。 ☆ポイントがチェックできる表を用意し、本時の終末に項目が全て埋まった報告文になるように書いていくことを伝える。 ☆児童から出てきた報告文の書き方のポイントを黒板に掲示し、児童が自分で書くときに確認ができるようにする。
展開	4. 報告文の「3. 調べて分かったこと」について、それぞれで書く。 ・一人で ・同じ委員会を選んだ仲間と ・先生に相談しながら ・ヒントカードを使いながらなど 予想される児童が使う文型・書き方 ① 「例えば～」 「～や…など」 「～したり…したり」 ② 段落を分けて、分かったこと→考えたことの順に書く ③ ～さんは「 」と言っていました。～さんによると「 」ということでした。 5. 中間交流でポイントを押さえている子の文を見て、文章の良さやポイントが押さえられているかを確認する。 6. もう一度、それぞれで報告文を書く。	☆文章の組み立てがしやすいように調べる段階でロイロノートにメモを残し、それを机上に用意しておく。 ☆なかなか書くことが進まない児童も書くことができるようにヒントカードを用意する。(例文を書いた物、穴埋めのプリント) ①で「いろいろ」という言葉で書いている児童に「例えばどんなことがある？」などと問いかけて例を想起させる。 ②で困っている児童には、どこまでが分かったことでどこからが考えたことなのか区別できるようにロイロノートのメモカードを見直すように声をかける。 ③引用した部分分からない書き方になっている児童には、「インタビューで聞いてきた部分はどこ？」と問い、聞いたことが分かるようにする。 ☆上手にポイントを押さえて書いている児童の報告文をピックアップし、全体でよさを共有する。
終末	7. 本時の振り返りをする。 チェックシートでポイントをおさえて書けたかをロイロノートで振り返り、全体で本時自分ができたことを交流する。 8. 次時は「4. まとめ」の部分を書いて、報告文の下書きを完成させることを確認する。 評価基準：「調べて分かったこと」を、文章を書くポイントを押さえて書くことができる。(思考・判断・表現B-(1)イ)	☆本時でできたことが振り返られるように振り返りチェックシートを用意する。